

## 秋季高校野球青森県大会あす開幕

# センバツ目指し激突

来春のセンバツにつながる秋季東北地区高校野球青森県大会は9日、開幕する。東北大会（10月16～22日・秋田県）の出場権3枠を懸け、45チームが熱戦を繰り広げる。初日は八戸長根など県内4球場で1回戦計11試合が行われる。

優勝候補の筆頭は、今夏

の甲子園に出場した八学光星。洗平比呂、岡本琉葵の2年生左腕コンビが全国の強豪を相手に好投し、ベスト8入りの原動力となった。1番に座った砂子田陽士は、攻守でチームを引っ張る活躍が期待される。夏の青森大会決勝で、八学光星と延長10回タイブレークに及ぶ接戦を演じた工大一も有力。10回3失点と力投した2年生エースの金洵光希にも注目が集まる。夏の主力が残る青森山田や弘学聖愛などの強豪私学も上位をうかがう。

開幕を目前に控えた7日、各チームは初戦に向けて調整を進めた。16日の2回戦から登場する工大二ナインは、グラウンドで打撃練習などに汗を流した。中里安寿主将は「春のセンバツに出るのが目標。まずは東北大会に出場できるようにチーム一丸となつて戦いたい」と意気込みを語った。

順調に日程が進めば、3位決定戦と決勝は10月1日に行われる。